

ボランティアの人かいて助かったこと

星野 良太

「こっちですよ。」

ぼくは、ゆうどう員に案内されて避難所に行った。案内されている時暗くてよく分からなかった。ゆうどう員かいてすごくほっとした。しかしその時心配だった。たことがあった。それは友達か元気になっているかケがをしないかということだった。また復興か進んで

山古志小学校

いるか、山の被害はどのくらいか、家は大丈夫なのかということもすごく心配だった。

そして避難所での暮らしか始まった。避難所では遊ぶ道具か全々なく学校にも行けなかった。そんな時いっしょに遊んでくれたのかボランティアの人だ。ボランティアの人は楽しい人ばかりで遊んでいてすごく楽しかった。ドッチボール、バスケットボール、野球などをして遊んでくれた。そのおかげで、ぼくは山古志に帰れるかという不安も消えただんだ。

人楽しくなってきた。

しかもそれから何日かしてからついに学校に行けるようになった。学校を貸してくれる場所は阪え上小学校だ。おかげで勉強ができるようになった。学校が始まってからもボランティアの人にはいろいろと支えんしてもらった。すごく不思議なネタで楽しませてもらった。たり始めて来た人にどこから来たかを聞いた。たり知らない遊びも教えてもらった。ぼく達はボランティアの人に「こんなことしよ。あ

山古志小学校

んなことしよ。」と言ってたくさん遊んでもらった。

ぼくは、もしもどこかに困っている人がいたら遊んでくれたボランティアの人みたいになりたい。困っている人を助けるためにかんぱりたい。今では思っている。